

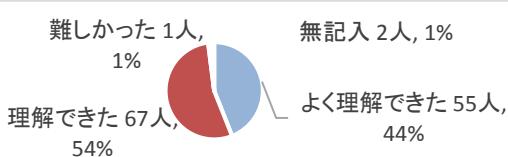
若手会員研修会 アンケート結果

1. 日 時 平成31年2月2日(土) 9:00~12:00
 2. 場 所 看護研修センター 第一研修室
 3. 参加者 156人 アンケート回収率 80.1% n=125人
 4. 内 容 パネルディスカッション「地域医療における看護の課題」
 パネリスト 富山県議会議員 川島 国先生、平木柳太郎先生
 デイサービスこのゆびとまれ 惣万佳代子先生
 認知症認定看護師 林 浩靖先生 富山西リハビリテーション病院 高橋 まゆみ先生

1. 属性

- 1)年齢 ①20代 87人(70%) ②30代 31人(25%) ③40代 6人(5%) ④無記入 1人
 2)性別 ①男性 11人 ②女性 114人

2. 1)テーマの「地域医療における看護の課題」について理解できましたか。



2)パネリストの話で印象に残った内容は何ですか。

- 選舉に行く事の意味が印象に残った(23人)
 - 行政、選舉について
 - このゆびとまれの立ち上げのエピソードで法令、条例との関係(15人)
 - 政治と看護の関連(3人)
 - 身体拘束について(8人)
 - 政治は自分に関係ないと思っていたが先生の話で将来が左右される
 - 現場で働く看護師の悩みに対する解決策など聞きたかった
 - 自分達が声を上げれば行政が動く(2人)
 - 退院後の訪問指導について(2人)
 - 退院後のサービス充実
 - 皆同じ思いをしていることが解った (人員不足、倫理的ジレンマ)
 - 夜勤に思った看護が充分出来ない
 - 訪問指導についてもっと知りたかった(2人)
 - 認定看護師になって責任は重いし、研修など休日はつぶれる。給料は上がらないので更新はしないようにしようかなど悩んでいる人がいる
- 質問して解決しました

- 惣万先生の話(10人)
- 川島先生の話
- 現場の問題は働いている人が声を上げる(8人)
- 認知症ケア加算について
- 若い世代の政治参加が自分達の職場環境改善に繋がる
- 普段聞けない話が聞けた
- 退院後の連携先を理解していないと思った
- 退院に向けたケアの必要性(2人)
- 家族看護、マイ看護師制度
- 自分の家なのに何故帰れないかの言葉
- 看護の現状を発言したが上の立場の人に一刀両断されると意見を出しなさいと言われても という気になった

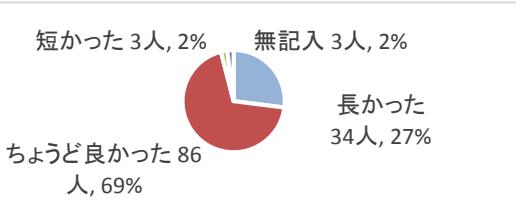
3)参加する前と後であなたが変化したことは何ですか

- 行政、政治が身近に感じられた
- 選舉に行こうと思った(18人)
- 政治に興味を持つという気持ちが高まった(10人)
- 発言しないと制度、法律は変わらないと思った(10人)
- 連盟の必要性、大きさが解った(2人)
- 政治、看護の多様な面より話が聞けた
- 私たちが看護の次世代を担っていく必要を感じた
- 今の現状を当たり前と思っていたが頭が切り替わった
- 現状の人手不足、身体拘束について問題意識を持った
- 地域医療に目をむける機会となった
- 家族看護について勉強したい
- 地域包括システムが動いている実態が解った
- 地域医療が整備され在宅での療養の実現が実感できた
- パネリストの話やDVDより看護の仕事のあり方について働いている人がいることを知った

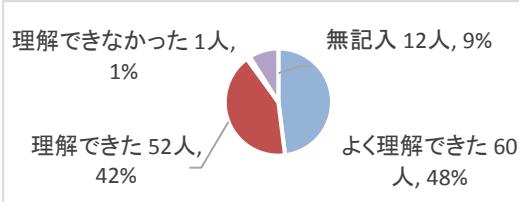
- 選舉に行く意義を理解した(11人)
- 政治と看護の関連が解った(11人)
- 自分の意見を言うことの大切さ(4人)
- 選舉と政治について自分の考え方方が変わった
- 選舉に行かないスタッフへ呼びかける
- 政治と税金のつながりを知った
- 同じ想いの看護師がいることを知れてよかったです
- 政治に参加する事が患者さんにできる一つと考える事ができた
- 退院後の不安を本人、家族より聞く必要を知った
- 退院後の生活を考えた看護について見直したい
- 自信を持って働いていく必要性
- 疲れた。わざわざ休日に使いしんどかった。インフルになつたら笑えないと思った

3. 進め方について

1)内容に対しての総時間は適切でしたか



4.模擬投票を見て投票の方法や期日前投票について理解できましたか



2) すすめ方やパネリストから情報量はいかがでしたか

- ・政治の話は難しいと思ったが解り易かった
- ・政治、現場と立場の違うパネリストで内容が解り易かった、
- ・政治に無関心ではいられない
- ・県議の話が聞けてよかったです
- ・普段聞けない話が聞けた
- ・退院後の連携先を理解していないと思った
- ・現場で働く看護師の悩みに対する解決策など聞きたかった
- ・パネリストの意見より話が広がり面白かった。
- ・看護師不足でよい看護をするには認定看護師より看護師を増やす
- ・声の上げ方を教えて欲しい
- ・具体的な意見が聞けてよかったです
- ・退院後の訪問指導について(2人)
- ・退院後のサービス充実
- ・個人的意見は質問しにくい。事前アンケートなどで意見を出して
欲しかった

- ・実際に働いている声を届けられる場で良かった
- ・若手会員の皆さんの質問で多くの情報が得られた
- ・質問に対しあなたの病院が悪いといわれ不快だった
- ・ディスカッションの時間をもう少し増やして欲しかった
- ・看護師の裁量権の拡大
- ・認定など資格取得時に補助金は今後も出ますか?
- ・看護師不足の中で患者さんと向き合うより他の業務に
時間をとられる。政策として進めていることはありますか
- ・地域医療の課題、連携がわかりやすかった
- ・身体抑制や夜勤Nsの人数について日々悩んでいること
を声を上げていくことが大切と思った
- ・グループワークのほうが意見が出ると思う

5.今後開催して欲しい研修会テーマのご要望はありますか

- ・看護師の処遇改善について知りたい
- ・看護職の人材確保、業務改善
- ・認知症へのかかわり方
- ・在宅看護について
- ・特定行為について
- ・病院により多様な方法があるのでいい看護が実際に見えるような研修会
- ・管理者にもこのような研修会の開催をして欲しい
- ・若手会員ではなく地域に関わる看護職に同じテーマですれば得るものが多い
- ・社会資源の活用について、介護度も含め
- ・政治で変わる看護の現場 ヒューマンエラー、医療倫理
- ・医師も招く研修会
- ・子育て、育児

6.第25回参議院選挙における日本看護連盟の組織内候補者予定者を記載してください

石田まさひろ 43名 (34.4%) 平木柳太郎 2名 木村やよい 1名 無記入 79名 (63.2%)